

報道関係者各位

2023年6月29日

日本システム技術株式会社
大阪公立大学大学院生活科学研究科

日本システム技術株式会社 × 大阪公立大学大学院生活科学研究科 連携協定におけるメディカルビッグデータ「REZULT」の デモンストレーション実施報告について

日本システム技術株式会社と大阪公立大学大学院生活科学研究科は、連携協定活動の一環として、メディカルビッグデータ「REZULT」の内容および活用に関するデモンストレーションを実施いたしました。

■ 目的

メディカルビッグデータの理解促進

今後、様々な分野への研究に対して、データ活用の可能性を検討することを目的にデータの特徴や仕組みについて、説明会を開催いたしました。

■ 内容

- ・ 概要
- ・ 活用事例「大阪府のコロナ禍の状況を REZULT で見てみる」
- ・ 質疑応答

メディカルデータ「REZULT」について (confidential 14)

A. 患者情報

- ・ パーソナル情報 (性別、年齢など)
- ・ 本人/家族区分
- ・ 保険加入状況
- ・ 通院頻度
- ・ 各種ヘルツナ

B. レセプト情報

- ・ レセプト種別 (入院/外来、資料、調剤、DPC)
- ・ 診療情報 (傷病名、ICD10、主病名、診療開始日など)
- ・ 診療情報 (診療行為、検査行為、ICU-療養利用状況など)
- ・ 処方薬情報 (薬品名、メーカー、薬効、ジェネリックなど)
- ・ 医療費

C. 医療機関

- ・ 病院区分 (大病院、地域拠点病院、救急指定病院など)
- ・ 所在地
- ・ 診療科目 (内科、外科、泌尿器科、循環器科など)
- ・ 住所情報 (郵便番号/二次医療圏など)

D. 健康診断

- ・ 基礎情報 (身長、体重、BMIなど)
- ・ 検査値 (コレステロール値、血糖検査、HbA1cなど)
- ・ 問診項目 (飲酒量、喫煙時間、喫煙習慣など)

患者由来の情報から、傷病処方情報、患者自身が通う医療機関の情報までを保持したビッグデータとなります。

また患者全量ではありませんが、健康診断データも一部扱うことが可能です。

- ・ 学会、論文への採用実績あり
- ・ 科研費獲得実績あり
- ・ モデル高材開発実績あり



大阪公立大学大学院生活科学研究科にて

■ 効果

メディカルビッグデータの背景から仕組み等、データの持つ価値や可能性について、理解を深めることができました。また、日本システム技術株式会社未来共創L a bと生活科学研究科の双方で、今後の可能性について意見交換することができ、非常に有意義な機会となりました。

■ 今後の展開

生活科学研究科では、早速データ活用に向けた検討を進めており、今後も様々な可能性に対する活用方法について、これからも意見交換を進めてまいります。本格的な共同研究開始につきましてはこれからとなりますが、具体的な研究に活用する際には続報として適宜情報開示をまいります。

■ メディカルデータ「REZULT」について

URL : https://www.jastlab.jast.jp/rezult_data/

■ 本件に関するお問い合わせ

日本システム技術株式会社 未来共創L a b

お問い合わせは[こちら](#) ※別窓で外部サイトへ遷移します。

未来共創L a b サイト : <https://www.jastlab.jast.jp/>

大阪公立大学大学院生活科学研究科

助教 加登 遼

E-mail : haruka-kato@omu.ac.jp